

第八講 先史時代のイタリア

新石器時代（前3000年頃～前2500年頃）

集落全体が一個ないし数個の堀で囲まれ（152.5m×122m）、一方向に出入り口を持つ楕円形の小屋、壁面は荒打ち漆喰、中央の床面に暖炉、屋根に煙出しの穴、屋根の上は土をかぶせ、その上に板を敷く

石斧、碾き臼、骨製の錐、石鎌、耳輪、紡錘の弾み車、壺（茶ないし黒）

羊、山羊、馬、驢馬、豚の飼育

宗教：豊穰を祈願する妊婦の像と、多産を象徴する角の生えた小人の像

スカルニトゥーラと呼ばれる埋葬儀式：頭蓋骨に赤土を塗り、死体から肉を切り取る

テレ・マーレ文化（前 2500 年頃～前 1000 年頃）

青銅器文化

テレ・マーレとはポー川流域下流域に堆積した腐植土のこと

幅 27m・深さ 9mの堀に囲まれた居住地（テレ・マーレ）

形状は方形と楕円形

カルド（横の道）・デクマヌス（縦の道）による碁盤目状の道路

土葬よりは火葬を好む

馬を飼育し、荷車を使用し、牛に鋤を引かせる

ドイツ中部から輸入した銅を使用

出土した銅塊に双斧の刻印あり＞クレタと交易

ヴィラノーヴァ文化（前 1000 年頃～前 550 年頃）

1858 年ボローニャから約 38 キロメートルのところにある寒村ヴィラノーヴァから発見。

火葬文化、井戸型墓、骨壺（暗灰色、複円錐形、幾何学模様や卍文、

更ないし兜を模した蓋)

火葬文化はイタリア原住民の文化でない>外地からの移住民

エトルリア地方やラティウム南部に類似した遺物出土

鉄製ないしは青銅製の武器 (男子)

留め金などの装身具、櫛、針、紡錘など。

青銅製の手桶、帯、ペンダント、安全ピン、琥珀製品やガラス製品

鎗矛、鎧、脛当て、胸板